国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022－2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト http://k-rc.main.jp/

第29回　2023年2月16日

会長挨拶　佐藤尚宏 会長

皆さん、こんばんは。本日はロータリーの創立記念日例会で、夜の例会になっております。今日は、卓話がございまして、急遽神山パスト会長にお願いしております。どうか皆さん宜しくお願い致します。IMが2月4日に盛大に行われました。鈴木実行委員長、池田統括幹事、初瀬ガバナー補佐、幕田分区幹事、そして当クラブから60名以上の会員が参加して頂き、また、石黒パストガバナーには新入会員セミナーを開いて頂きました。佐藤ガバナーも「格式があって、しっかりした進行で素晴らしかった。60名もの会員スタッフが全員同じタスキをかけて歓迎してくれたのは初めて見た」と大変感動されていました。全体では200名を超える会員の参加を頂いて盛大に行われました。改めて本当にありがとうございました。

いよいよ春の親睦旅行のご案内が皆様のお手元に届いたかと思います。幹事も一生懸命手配してくれました。私もロータリーらしい旅行をしたいなと思い楽しみにしておりますので、是非ご参加を宜しくお願いします。

IM御礼　池田達哉 統括幹事

2月4日のIM開催につきましては、ホストクラブである我がクラブ、会員の皆様には素晴らしい会を設営して頂きまして心から感謝を申し上げます。当日は、私達郡山クラブとしてやらなければいけない形で分区の会員の皆様をお迎えできたということに、非常に感動しましたし、何よりも会員の皆様と写真を撮りましたが、笑顔で写っていらっしゃいまして、心から楽しんで頂けたのかなと統括幹事としましては非常に達成感がありました。本当にありがとうございました。

初瀬照夫ガバナー補佐

中央分区は全国でも人数が一番多い分区です。ですからそこに誇りを持ってやるべきだと思います。まずクラブ奉仕が基本です。私はレターボックスの配布物を何人かへ届けたところ、伊藤清郷さんからお礼のメールが来ました。こういう心配り、優しさ、思いやり、こういうことを例会を通じて育てていくというのがクラブ奉仕だと思います。そしてこのクラブ奉仕ができない人に社会奉仕は出来る訳がないということなのです。ですから自分を磨くことや品格を持つ事、こういう事を例会を通じて磨いていくというのが根本で、それが今回のIMで皆さんにご理解を賜ったんじゃないかなと個人的には思っています。誠にありがとうございました。

石黒秀司パストガバナー

私も今年色んな分区のIMに出席をさせて頂いておりますし、新会員セミナーも県北第一・第二・いわき・中央で4カ所回ってまいりました。熱を込めてお話をさせて頂いておりますが、素晴らしく皆さん真剣に聞いて頂きました。佐藤ガバナーもエレベーターを降りた瞬間から非常なる緊張感で、素晴らしい設営をして頂いたということで感謝の言葉をおっしゃっていました。これも会員の皆様方の日頃からのロータリーに取り組む熱意、そして真摯な気持ち、そういったものが形になったのかなと思っております。これからもスクラム組んで頑張って参りましょう。ありがとうございました。

幹事報告　橋本　勝 幹事

国際ロータリー第2530地区委員会から、DEI委員会セミナーが3月17日㈮に開催ということで興味にある方は幹事までお願いします。全国囲碁大会が5月20日東京で行われます。親睦旅行ですが早めの出欠をお願いします。

雑誌委員会報告　佐久間盛徳 委員長

「ロータリーの友」2月号を紹介いたします。

横組	4頁	RI会長メッセージ
	8頁	『友』創刊70周年特別企画
	20頁	おめでとう！大阪RC創立100周年
	22頁	END POLIO NOW 郡山RC大町商店街バザー
	25頁	視点　佐藤正道ガバナー
	36頁	地区大会略報Ⅲ
	40頁	エバンストン便り
縦組	4頁	人との出会い　他者のために生きる
	9頁	この人を訪ねて　奈良RC柳澤育代

ニコニコBOX委員会報告　佐藤　聡 委員長

◎本日、ロータリー記念日例会にご参加頂き、ありがとうございます。神山さん、卓話宜しくお願いします。　佐藤尚宏君

◎本日は第29回例会です。宜しくお願いします。ロータリー創立記念日例会を楽しみましょう！　橋本　勝君

◎再発会、おめでとうございます。　池田達哉君

◎創立記念、おめでとうございます。　前田泰彦君

◎おめでとうございます。　安藤智重君

◎IM、ありがとうございました。　初瀬照夫君

◎IMお疲れ様でした。神山さんの卓話、楽しみにしております。　中原喜範君

◎IMお疲れ様でした。本日も宜しくお願いします。　渡邊邦浩君

◎IMでラ・カンパネラが聴けて良かったです。実行委員長、統括幹事、単身赴任の皆様、お疲れ様でした。　平松敏郎君
◎お久し振りです。バッヂなくしたので買いました。　星　北斗君
◎通夜、告別式の参列ありがとうございました。　斎藤弥三郎君

創立記念日卓話　神山英司 パスト会長

「ロータリーとは」を中心に話をしてみたいと思います。1904年2月から1905年9月頃まで日本は日露戦争をやっていました。その頃にアメリカでできたのがRCなのです。その時にポール・ハリスが「4人で飲もう、楽しく飲まないか」と友人に呼びかけたのがロータリーの始まりだったと思うのです。色々なロータリー関係の本を読んでみると、事務所を回したと言う話が残っていますが、ロータリーというのは回るという意味ですから、その4人の中で仕事を回したのだと思います。そうでなければ僕はここまでにはならなかったような気がします。お互い利益を生み出そうよという話なのです。

僕はいつも思っていることが一つあります。日本語に訳し間違えた言葉が一つある。ロータリー でよく出てくる『奉仕』と言う言葉です。『Service』を『奉仕』と訳してしまったのが難解にしてしまったと思います。と言うのは多くの『Service』には必ずお金が伴うのです。チップを渡すことがそうである様に『Service』には絶対にお金が伴うものなのです。そういうことから推測していくと、必ず仕事も回したはずです。そこでその後に、奉仕にはお金は伴わないとなった。なぜならお金を払わない『奉仕』という感覚が日本人にはあるのです。そういうことから考えていくと、その後に出て来る『調和の奉仕』ですが、この言葉でやっと、みんながお金を伴わなくても奉仕活動をしようと納得したのかなと思います。

もう一つ忘れていけないのは「日本のロータリー」というのもありますから、それをお読みになって頂きたいと思いますが、シリアルナンバー 3992が当クラブが昭和11年に発足した証です。昭和23年に財団、その後に米山ができます。そうすると昭和23年以降にできたRCは、財団に寄付しますというハンコを押して初めて設立できた。同じ様に米山ができた時には財団に寄付いたしますというハンコを押して、それで初めて設立できたのです。当クラブは昭和11年発足ですから、どちらにもそのハンコを押していないのです。だから当クラブはどちらにも寄付の強制がないのです。そこが当クラブの素敵なところだなと思います。寄付行為は強制があっては絶対駄目だと思います。自分で欲してやらなければ寄付行為は成り立たないことなのです。そこは皆さんに伝えておきたいことです。「仲良く楽しく飲もうよ」。これは4人で仲良くやろうよ、そこの中で品格を作っていこうよ、ということで、これがRCのスタートだったと確信しています。当時ポーツマス条約が日露戦争後に結ばれましたが、小村寿太郎という人物が、戦争を止めさせるように説得して歩ったというのが、今よりも立派な外交であったのかなと思います。その当時の日本、それとロータリーが出来上がった時代が同じだったということをここで皆さん方ともう一度ゆっくり考えてみたいと思います。スタートは「一杯飲むべ！」です。今日も夜の例会ですから一杯（いっぱい）飲みましょう。

出席報告　二瓶健一 副委員長

総員／102名　出席／52名　欠席／50名
出席率／50.98%　前回修正率／100%　他クラブ出席／8名

次回 第31回例会
令和5年3月9日㈭
会員卓話
㈱エヌジェイアイ
本部長　田中明寿君

創立記念日例会

会長挨拶　佐藤尚宏 会長

寒い日とあったかい日が交互に来ておりまして、まだ檜原湖の氷が凍りきらないということで全面結氷しないのかなという感じではありますが、今度の日曜日、穴釣りには行ってみようかなとは思っています。今日は、先日亡くなられたの金之介さんの奥様から頂きました、郡山でも一・二に美味しい袋吊りのお酒で乾杯をしたいと思います。

IM御礼　鈴木禎夫 実行委員長

先日はIMに皆さんの協力を得まして、盛大にしかも有意義に実行できたのではないかと思います。2530地区の新たな歴史の一ページを開けたのではないかと思います。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

乾杯　新城義雄君

我々の先輩が、この伝統ある郡山RCを設立することになったその記念日を祝って乾杯を致します。乾杯。

会報第29号（通算3406号）2023.3.2発行　/　編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起